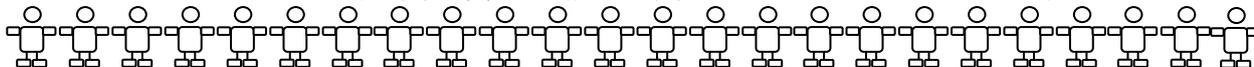


発行：2020年度 第3号 1月1日(金)

## 三国中校区「なかよし地域ネット」通信

発行者：三国中校区「なかよし地域ネット」人権のまちづくり推進連絡会  
会長 白木 博昭 / (文責) 事務局長 楠 良司

連絡先： 小郡市教育委員会 人権・同和教育課 電話 72-2111 内線532



### 第5回 三国中校区「人権のまちづくり交流会」を開催します！

～人権を視点に地域住民同士や活動団体がつながり「子どもたち」を地域で育みましょう！～

☆日時 2021年 1月30日(土) 10:00～11:30 (予定)

☆会場 ふれあい館三国(2Fホール)

☆内容 ○テーマ：『人権』ってなんだろう？

～子どもになったつもりで考えてみませんか？～

○講師：荒巻 憲一さん(人権・同和教育課)

子どもたちが学校の授業でどんなことを学んでいるのか、自らも子どもになったつもりで久しぶりに授業を受けてみませんか？考えることで、見えてくるものがきっとあると思います。



※どなたでも参加できます。参加費は無料です。

主催：三国中校区「なかよし地域ネット人権のまちづくり」「人権問題啓発推進委員会」

### すべての子どもたちの教育条件に関する署名について

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、「奨学金制度のさらなる改善と拡充」「教職員等の配置充実」「学び場支援授業をはじめとする社会教育制度の充実」等の趣旨に賛同していただける組織・代表者名による団体署名に取り組みました。三国中校区においても、学校やPTA、「人権のまちづくり」などから署名をいただきました。

市内から集まった団体署名をもって、11月9日には小郡市・小郡市教育委員会に対して、また11月20日には福岡県教育委員会に対して要請行動が行われました。各中校区からの要望等を受けて、県の教育委員会からは、「地域の声を真摯に受け止めたい」という回答をいただきました。

2021年度以降も、すべての子どもたちの教育条件に関する署名活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



提出された団体署名

# 三国が丘1区「防災訓練」を行いました！



11月15日(日)10時～ 三国が丘公民館の防災放送から「震度6」の地震発生を想定して防災無線のアナウンスが流れました。

「住民の皆様は三国が丘公民館に避難してください！」地域の皆様の避難訓練移動がはじまり、組長さんは、要支援の方のお家に安否確認をしながら、公民館へと避難をしました。

訓練に参加された100名の方々は、集会室で小都市防災安全課の野見山さんから、災害時の身を守るための講義に続き、消火訓練、AEDの使い方、簡易担架の作り方などの実践的な訓練を行いました。昼食は、災害時に備えた非常食でしたが、「思っていたよりも美味しく感じた」と感想が聞かれました。

昼食の後は、近くのスーパー（トライアル）に移動をして、久留米広域消防本部に準備をいただいた「地震体験車両」で、参加者全員が震度7を体験しました。体験をした大人や子どもからは「何も動けずにこわかった」と声が聞かれました。

田中昭弘区長は、「もしもの災害を想定して、訓練を継続して繰り返し行うこと、なにより日頃から地域のお付き合いが大切です」とお話しくださいました。個人の備えと地域の備えの大切さを実感する避難訓練でした。

## ユニバーサルデザインを身近に見てみましょう



ふれあい館三国のトイレ表示



きぼうの森館の調理台

電動で昇降

「ユニバーサルデザイン」という言葉を聞いたことがありますか？東京オリンピックに採用されているスポーツ、日常では、建物の非常口や電車乗り場をイラストで表している「ピストグラム」がわかりやすいと思います。ロゴマーク使って案内表示をすると、国籍、年齢、障がいのあるなしなど、普遍的にわかりやすく表現できます。「誰もがわかりやすい」「使いやすい」がキーワードとなることが「ユニバーサ

ルデザイン」なのです。私たちの身近にある、ふれあい館三国のトイレ表示は、ロゴマーク（ピストグラム）で表示されていて「白黒」です。色弱の方にとっては、白黒の方が見えやすい表示です。大原校区のきぼうの森館のトイレは、オストメイト対応や小さな子どもが使いやすい幼児用便器が設置されているパブリックトイレです。さらに、調理室には、電動で昇降して高さ調節ができる調理台があり、幼児や高齢者、車いすの方が使いやすい様になっています。「誰もがわかりやすい」「使いやすい」を身近に探してみても、いかがでしょうか？

これからユニバーサルデザインも増えてくるといいですね。

## 人権学習参観・分会が行われました(三国中学校)

三国中学校では、11月28日の土曜授業で人権学習参観・分会が行われました。

今年は、1年生では「識字学級」、2年生では、「文化を支えた差別された人々」3年生では「統一応募用紙（公正な採用選考）」の学習が行われました。子どもたちは、真剣に話を聞き、自分なりに一生懸命考えている様子が見られました。「差別」がいかに理不尽で許されないものであるかということや、「人権」は一人ひとりがもつ大切なものであるということを感じたのではないのでしょうか。



参観された方からは、「自分自身の学びになった」「子どもたちも学んでいるので、わたしたち大人も学ばなければならない」などの声が聞かれました。